

第 5 章 保健予防課

保 健 予 防 課 業 務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

1 結核予防

結核患者の発生届出受理後、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。また、結核の基本的かつ正しい知識を普及し、DOTS（直接服薬確認療法）の積極的な取り組みの推進を目的に、医療従事者等を対象に研修会を行いました。

2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。法律に基づく赤痢・腸管出血性大腸菌感染症等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族・接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。

また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウイルスに感染した方がインターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療及びインターフェロンフリー治療を受ける場合の医療費助成事務を行いました。

新型コロナウイルス感染症については、高齢者福祉施設等に対し、感染対策についての相談支援を行いました。

3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のためにHIV、梅毒の相談・検査を実施しました。また、コロナにより中止になっていた青少年エイズ・性感染症予防講演会を再開し、中学生・高校生等の若い世代を中心にパンフレット等を配布することで、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を図りました。

4 難病対策

特定疾患・指定難病患者への医療給付・医療費助成事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に面接・電話・訪問指導を行いました。

5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務と、定期健康診断を行いました。

6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、認知症等行方不明な高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。

7 精神保健福祉

精神疾患の早期発見・早期治療や再発防止を図るため、専門医による定例相談・訪問及び福祉職・保健師による随時相談・訪問を行いました。精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のため「地域で暮らそう検討会」を開催し、長期入院者退院支援や地域移行人材養成研修を通して地域課題に取り組みました。自殺対策の取り組みとしては地域の関係機関と連携して普及啓発のための研修会を開催しました。また、措置入院者退院後支援計画による支援も実施しています。

1 結核予防

(1) 健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区 分	対象者 (実数)	受 診 者 (延べ)		受 診 結 果 (実数)		
		保健所	受診券交付	要医療	経過観察	異常なし
管理検診	1	—	1	0	0	1
接触者 健康診断	44	35	10	4	1	39

(2) 保健指導

適切な治療の確保、医療中断の防止、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の指導を実施しました。

家庭訪問		所内指導 (延人数)			
実人数	延人数	電話	面接	文書	計
20	71	131	39	7	177

(3) 結核医療従事者研修

結核予防思想の普及啓発のため、管内の医療機関担当者等を対象に研修を開催しました。

開催日	内 容	講 師	参加人員
11月2日	結核で慌てないために ～高齢者結核について皆で学ぼう～	公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部保健看護学科長 座間 智子 氏	35名

(4) 巡回型結核研修

結核の基本的かつ正しい知識等の普及啓発のため、管内医療機関、介護サービス提供者職員を対象に研修を開催しておりますが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため実施ませんでした。

(5) 結核コホート検討会

結核治療を終了した患者の治療経過や菌検査の確認などを振り返り、予防可能例の検討および服薬支援実施活動の評価を行い、地域DOTS（直接服薬確認療法）体制の強化と神奈川県結核対策の推進を図っています。
(※平塚保健福祉事務所と交替で開催)

開催日	開 催 場 所	助言者・講師	参加人員
8月17日	鎌倉保健福祉事務所三崎センター	公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部保健看護学科長 座間 智子 氏	33名
3月4日	平塚保健福祉事務所秦野センター	講師 神奈川県衛生研究所 微生物部細菌・環境生物グループ 中嶋 直樹 主任研究員 助言者 公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部保健看護学科長 座間 智子 氏	32名

(6) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 新登録患者数 22名 (活動性分類別・市町別・年齢別・転入含む) 2023年1月1日～12月31日

区分		活動性結核（内訳）					潜在性結核
		計	肺結核			肺外結核	
			喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性その他		
2023年		12	3	6		3	10
市町村別	鎌倉市	8	2	3		3	3
	逗子市	3	1	2			3
	葉山町	1		1			4
年齢別	0～4歳						
	5～9歳						
	10～14歳						
	15～19歳						
	20～29歳						1
	30～39歳						1
	40～49歳	1		1			
	50～59歳						
	60～69歳						3
	70～79歳	3		1		2	1
80歳～	8	3	4		1	4	

(イ) 総登録患者数 35名 (受療別・市町別・年齢別)

2023年12月31日現在

区分		計	活動性肺結核	活動性肺外結核	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核
2023年		26	3	1	22		9
受療別	入院						1
	在宅医療	4	3	1			5
	経過観察	22			22		3
	不明						
市町村別	鎌倉市	16	1	1	14		3
	逗子市	8	2		6		4
	葉山町	2			2		2
年齢別	0～4歳						
	5～9歳						
	10～14歳						
	15～19歳	1			1		
	20～29歳						3
	30～39歳						1
	40～49歳	3	1		2		
	50～59歳	3			3		
	60～69歳	2			2		2
	70～79歳	4	1	1	2		1
	80歳～	13	1		12		2

イ 結核登録状況の推移

各年12月31日現在登録患者数／人口×10万

年	神 奈 川 県		管 内		鎌 倉 市		逗 子 市		葉 山 町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2019(令和元)年	2,546	27.7	57	21.7	34	19.7	16	28.1	7	21.2
2020(令和2)年	2,319	25.1	66	25.2	40	23.1	18	31.6	8	25.3
2021(令和3)年	1,996	21.6	46	17.5	30	17.3	11	19.2	5	15.2
2022(令和4)年	1,780	19.3	51	19.5	38	22.0	11	19.4	2	6.1
2023(令和5)年	...	...	26	10.0	16	9.3	8	14.3	2	6.2

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

ウ 結核り患状況の推移

新登録患者数／人口×10万

年	神 奈 川 県		管 内		鎌 倉 市		逗 子 市		葉 山 町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2019(令和元)年	987	10.7	31	11.9	22	12.7	5	8.8	4	12.6
2020(令和2)年	808	8.7	22	8.4	17	9.8	4	7.0	1	3.2
2021(令和3)年	748	8.1	19	7.2	12	6.9	6	10.5	1	3.0
2022(令和4)年	701	7.6	27	10.3	21	12.2	5	8.8	1	3.1
2023(令和5)年	...	...	10	3.8	7	4.1	3	5.4	0	0

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 活動性結核有病状況の推移

各年12月31日現在活動性結核患者数／人口×10万

年	神 奈 川 県		管 内		鎌 倉 市		逗 子 市		葉 山 町	
	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率	登録数	有病率
2019(令和元)年	637	6.9	14	5.4	10	5.8	1	1.8	3	9.5
2020(令和2)年	543	5.9	13	5.0	10	5.8	2	3.5	1	3.2
2021(令和3)年	509	5.5	14	5.3	9	5.2	4	7.0	1	3.0
2022(令和4)年	457	4.9	11	4.2	7	4.1	3	5.3	1	3.1
2023(令和5)年	...	...	4	1.5	2	1.2	2	3.6	0	0.0

(注) 潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

(7) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請
医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

・ 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

2023年1月1日～12月31日

区 分	20条 入院勧 告	37条の2	保険内訳					
			被 用 者 保 険		国 民 健 康 保 険		高 齢 医 療	生 活 保 護
			本 人	家 族	一 般	退職本 人・家族		
申請件数(計)		39	5	3	6		25	
医療内容合格		39	5	3	6		25	
公費負担承認		39	5	3	6		25	
公費負担不承認								
入院勧告件数	4							
入院延長	6							

2 感染症予防

(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）

ア 発生状況（鎌倉保健福祉事務所への発生届／調査依頼）

- ・患者居住地に関わらず、管内の医療機関からは鎌倉保健福祉事務所に発生届が提出されます。
- ・他の保健所が受理した発生届の患者・接触者等について、所在地が管内の場合には通報や調査依頼があります。

類型	疾 患 名	2023(令和5)年度 (件数)		2022(令和4)年度 (件数)	
		発生届	調査依頼等	発生届	調査依頼等
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	3	0
	細菌性赤痢	2	0	0	0
	(小計)	3	3	3	0
四類	E型肝炎	2	1	3	0
	レジオネラ症	2	1	11	2
	(小計)	4	2	14	2
五類	アメーバ赤痢	1	-	0	-
	破傷風	0	-	1	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	-	1	-
	播種性クリプトコッカス症	2	-	1	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	-	0	-
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	-	0	-
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	2	-	0	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	13	-	7	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	0	-
	水痘（入院例に限る）	0	-	1	-
	梅毒	7	-	10	-
	急性脳炎	1	-	0	-
	麻しん	1	1	0	-
	(小計)	37	1	21	-
新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症※	231	-	35,675	-

※令和5年5月8日から定点把握対象疾患となった。

イ 患者・接触者疫学調査実施状況（他の保健所からの調査依頼等を含む）

類型	疾 患 名	調査数	患者	接触者	検査数	保菌者数	備考（海外渡航先、検査結果）
三類	腸管出血性大腸菌感染症	11	4	7	10	0	
	細菌性赤痢	7	2	5	5	0	
四類	レジオネラ症	3	2	0	2	0	施設調査1件あり
	E型肝炎	2	2	0	2	0	
五類	麻しん	1	0	1	1	0	

(2) 感染症施設集団発生報告

社会福祉施設等における感染症集団発生に係る報告に対し、相談・調査・保健指導を行いました。

報 告 施 設		感染性胃腸炎		インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症※	
		2023年度 (令和5)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2022年度 (令和4)
社会福祉施設等	高齢者施設	4	2	3	4	42	44
	障害者施設	1	0	2	0	7	0
	保育所	2	2	10	10	1	0
その他	教育施設	0	0	0	0	0	0
報 告 件 数 合 計		7	4	15	14	50	44

※2022年度は、医療危機対策本部室で検査を実施しているため、当所において調査等を実施した施設を計上。

(3) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施 設	2023(令和5)年度(2023/24シーズン)					2022(令和4)年度(2022/23シーズン)				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	患者数
保 育 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼 稚 園	5	0	0	5	35	0	0	0	0	0
小 学 校	192	1	40	151	2,417	54	0	7	47	669
中 学 校	73	0	15	58	1,171	5	0	1	4	84
高 校	25	0	0	25	357	2	0	0	2	27
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	295	1	55	239	3,980	61	0	8	53	780

(4) 感染症対策連絡会議

月日	内容	対象	参加人数
11月24日	令和5年度鎌倉保健福祉事務所 感染症対策連絡会議	医療機関	31

(5) 感染症予防対応研修

月日	内容	対象	参加人数
9月4日 9月25日 9月29日	講義「5類移行後はどう変わった？学び直そう、感染症対策」 演習「手袋・PPE 着脱演習」	介護サービス事業所の職員	71

(6) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区 分	2019(令和元)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		2023(令和5)年度	
	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行
C型肝炎	8	0	10	0	5	0	6	0	4	0
B型肝炎	8	0	10	0	5	0	6	0	4	0

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

年度		2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
区分	申請者数	0	0	0	0	0
	承認数	0	0	0	0	0
	不承認数	0	0	0	0	0
3剤併用療法	申請者数	0	0	0	0	0
	承認数	0	0	0	0	0
	不承認数	0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療	申請者数	16	13	18	10	10
	承認数	16	13	18	10	10
	不承認数	0	0	0	0	0
核酸アナログ製剤治療	申請者数	104	55	135	118	139
	承認数	104	55	135	118	138
	不承認数	0	0	0	1	0

※保留1

3 エイズ予防

HIV、梅毒の感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

(1) HIV、梅毒相談・検査

ア HIV、梅毒相談・検査実施状況

区 分	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
相 談	148	120	118	※116	106
検 査	74 (72)	60 (59)	59 (59)	67 (67)	59 (57)

() 内は梅毒検査数

※令和5年1月より厚生労働省への報告に係る集計方法の変更あり。

イ HIV、梅毒検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	—	7 (6)	15 (15)	8 (8)	10 (10)	4 (4)	—	44 (43)
女	—	5 (4)	9 (9)	—	1 (1)	—	—	15 (14)

() 内は梅毒検査数

(2) エイズ性感染症予防普及事業

- ・ 青少年エイズ・性感染症予防講演会

月 日	実施校名	対象	受講者数
3月18日	神奈川県立七里ガ浜高校	1年生	350

4 難病対策

原因不明で治療方法が未確立の特定疾患・指定難病患者に対し、医療給付・医療費助成申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

(1) 特定疾患医療給付

受給者数 計0名

(2) 指定難病医療費助成

受給者数 計2,097名

(3) 相談

保健師による所内指導を行いました。

区 分	面接	電話	文書	計
件 数	70	159	0	229

(4) 訪問指導

保健師による訪問指導を行いました。

区 分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件 数	—	—	—	—	—	—	29	72	—	—	29	72

(5) 医療相談等

在宅療養中の難病患者と家族の療養生活上の不安を解消し、QOLの向上を図るため、疾患や療養生活についての講演会、交流会及び相談会を開催しました。

区 分	回数	対象疾患	内 容	講師等	参加人員
講演会・交流会	1	全疾患	・講演「難病患者のためのはじめよう！災害対策」 ・交流会（情報交換）	・国際医療福祉大学小田原保健医療学部長 小森 哲夫 氏 ・日本ALS協会神奈川県支部 松山 博 氏	26
相談会	2	全疾患	個別相談	鎌倉保健福祉事務所 職員（保健師）	3

(6) 難病対策地域協議会

地域における難病患者の支援体制に関する課題を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行いました。

月 日	内 容	参加機関	出席人員
1月25日	議題 (1) 新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う難病患者支援の状況について (2) 「災害準備ノート」および「災害時連絡カード」の活用・普及について (3) 在宅難病患者支援における災害対策の取組および課題について (4) その他	医師会、医療機関、神奈川県難病団体連絡協議会、神奈川県訪問看護ステーション協議会横三地区、居宅介護支援事業所、管内市町、学識経験者 等	21

(7) 従事者研修

難病患者の支援に携わる関係者を対象とした研修会は、開催しませんでした。

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被 爆 者 健 康 手 帳	104	31	7	142
第 一 種 健 康 診 断 受 診 者 証		1		1
第 二 種 健 康 診 断 受 診 者 証	1	2		3
被 爆 者 の こ ど も 健 康 診 断 受 診 証	186	66	21	273
計	291	100	28	419

(2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2020年度 (令和2)	第1回 5月	1		1
	第2回11月	1	4	5
	計	2	4	6
2021年度 (令和3)	第1回 5月			
	第2回11月		1	1
	計		1	1
2022年度 (令和4)	第1回 5月	1	2	3
	第2回11月		1	1
	計	1	3	4
2023年度 (令和5)	第1回 5月		1	1
	第2回11月		1	1
	計	0	2	2

6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域の関係者への支援を実施しました。

(1) 相談事業

ア 相談内容

区 分	件数(実)	内 容 (延べ)						
		疾病一般	問題行動	治療	看護介護	介護者の問題	介護者の支援	その他
定例相談	3	2	2	1				
随時相談	19	13	26	17	9	8	13	2
計	22	15	28	18	9	8	13	2

イ 相談対象・方法

区 分	件数(延べ)	対 象		方 法(延べ)			
		新規	継続	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	3	3			1	2	
随時相談	41	19	22	28	12		1
計	44	22	22	28	13	2	1

(2) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

性別	男		女		計	
	実	延べ	実	延べ	実	延べ
	3	7	1	1	4	8
年齢別	～69歳	70歳代	80歳～	実数		
		2	2	4		

(3) 地域支援

鎌倉・逗子・葉山徘徊高齢者ＳＯＳネットワークにより、認知症等で行方不明になった方の早期発見・保護のため、関係機関と連絡調整を行いました。広域搜索依頼は、令和５年９月１日より県高齢福祉課に市町村から直接依頼することになりました。

ア 管轄外から広域依頼された件数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町
ＳＯＳネットワーク依頼件数	1	1	0
広域依頼せず解除された件数	0	1	0
広域依頼した件数	1	0	0
広域依頼して解除された件数	0	0	0
広域依頼継続中の件数	1	0	0

※管轄外からの搜索広域依頼された件数32件

イ 身元不明高齢者の保護数

内容	鎌倉市	逗子市	葉山町	管轄外
身元不明高齢者が保護された件数	0	0	0	0

7 精神保健福祉

(1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、保健師、精神保健福祉士等が相談・訪問を行いました。

ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	326	1,649	224	102	1,323
訪問	17	190	10	7	173

注1) 保健所で初めて取り扱ったケース(実人数)

注2) 過去に把握したが令和5年度に再度相談・訪問したケース(実人数)

イ 相談(性別・年齢別)

区分	計	性別			年齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	326	157	162	7	3	26	20	33	58	59	29	21	19	58
延べ人員	1,649	899	743	7	4	90	80	297	534	346	84	55	94	65

ウ 訪問(性別・年齢別)

区分	計	性別			年齢									
		男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明
実人員	17	10	7	0	0	1	1	2	6	3	2	1	1	0
延べ人員	190	107	83	0	0	5	6	28	78	41	16	4	10	2

エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	326	17	27	107	56	119
訪問	17	2	4	0	0	11

オ 相談種別

区分	計	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	1,649	922	571	109	43	4
訪問	190	112	62	15	1	0

カ 相談者数 ※ 内訳は複数回答

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	2,306	294	455	513	256	788
訪問	522	135	89	96	69	133

キ 診断名

区 分	実 人 員	失調 症合	神 器 質 性 障 害	情 気 分 障 害 感	て ん か ん	ル ア ル コ ー ル 依 存	薬 物 依 存	人 成 格 障 害 の	関 連 障 害 ス レ サ イ ト	精 神 の 障 害 の	診 断 保 留	と 精 神 認 め ず 害	未 受 診	不 明
相 談	326	98	11	35	2	7	4	8	6	10	9	5	58	73
訪 問	17	9	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2

ク 担当者（延人数）（※内訳は複数回答）

	医 師	福祉職	保健師	その他	延件数
相 談	60	1,647	16	16	1,739
訪 問	15	190	2	7	214

（２）教育普及活動

ア 精神保健福祉協力者の育成指導

鎌倉市のボランティアグループが行う精神保健福祉ボランティア講座への協力を行いました。

月 日	内 容	回 数
10月18日	鎌倉保健福祉事務所における相談支援	1

イ 人材養成研修

精神障害者支援に関わる支援者に、精神障害や地域移行を推進するための理解を深める研修を行いました。

月 日	内 容	講 師	参加人数
11月14日	精神障害のある方を地域で支える	NPO法人メンタルサポート葉山 理事長 雨宮 由美 氏	59
12月15日	座間市における断らない相談支援	座間市地域支援課 武藤 清哉 氏 相談オフィスわ〜くすけあ 池田 陽子 氏	19

ウ 普及啓発研修

地域住民の皆さんの精神障害への理解を促進する研修を行いました。

月 日	内 容	講 師	参加人数
11月27日	飲酒・アルコールについて	久里浜医療センター 精神科専門医 伊東 寛哲 氏	71

（３）団体支援及び連携

県酒害相談員研修会、鎌倉返子断酒会が開催する酒害相談研修会に参加し、助言を行っています。

区 分	回数	内 容
断酒会	2	・知っておきたい認知症のこと ・アルコール依存症の最近の動向及び対応について

（４）社会復帰の支援

ア 集団指導活動

アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

区 分	回数	参加人員 実人員 延べ人員	内 容
アルコール教室	5	8 21	アルコール依存症の学習、グループミーティング

イ 普及啓発

県民や関係機関を対象に、アルコール依存症についての正しい理解を促す機会として、アルコール教室研修会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
9月15日	アルコール依存症との関わり方 ～医療と地域のつながり～	久里浜医療センター ソーシャルワーカー 高橋 陽介 氏	24

(5) 精神保健福祉業務（法定業務）

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神科病院の実地指導・実地審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。また、医療観察法対象者に対して地域定着に向けた支援を行いました。

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請・通報（23・24条）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。（今年度は22条に基づく申請はありませんでした。）

区 分	件 数	指定医診察実施				不実施		取下げ
		要措置	不 要 措 置			受療 指導等	その他	
			入 院	入 院 外	医療不要			
23条	61 (39)	31 (18)	5 (4)	5 (3)	0 (0)	2 (0)	18 (14)	1 (1)
24条	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)

（ ）内は夜間・休日の精神保健福祉センター扱い件数

イ 措置入院者退院後支援

措置入院患者が退院後に地域でその人らしい生活を安心して送れるように、同意の得られた者の医療等の退院後支援計画を立てて支援を実施しました。（神奈川県措置入院者等退院後支援ガイドライン 平成30年9月から開始）

措置入院者退院後支援数 38人 （うち計画作成による支援者数16人）

ウ 精神科病院実地指導・実地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

月 日	施設名
10月4日	メンタルホスピタルかまくら山
11月7日	福井記念病院
12月5日	湘南鎌倉総合病院

※福井記念病院については三崎センターと合同実施

（イ）精神保健福祉法に基づく実地審査（医療保護入院者・任意入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	措 置 入 院			医 療 保 護 入 院			任 意 入 院		
	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要
メンタルホスピタル かまくら山	—	—	—	2	—	—	1	—	—
福井記念 病 院	1	—	—	3	—	—	1	—	—
湘南鎌倉総 合病院	—	—	—	2	—	—	—	—	—

エ 医療保護事務

区 分	件 数
入退院届（法33の1他）	722
定期病状報告（法38条の2）	161

オ 医療観察法

内 容	回数
医療観察法対象者ケア会議・訪問等	4

(6) 会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について、会議を開催しています。地域包括ケアシステム構築のための協議の場を設け、地域課題の検討をすすめました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉委員会）

月 日	場所	内 容	出席人員
3月1日	鎌倉保健福祉事務所	・令和5年度当所及び市町の精神保健福祉の取組について ・相談体制及び地域連携について（意見交換）	29

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	場所	内 容	出席人員
5月23日	鎌倉保健福祉事務所	・当所及び市町の今年度の精神保健福祉業務の取組及び課題について ・障害者の職場定着に係る雇用分野と福祉分野の連携について ・地域精神保健（メンタルヘルス）の取組の充実について	23

ウ 横須賀三浦・藤沢地域精神科病院等関係機関連絡会

月 日	場所	内 容	出席人員
10月31日	鎌倉保健福祉事務所	・長期入院者退院促進の取組状況 ・退院促進の取組強化に向けて ・精神科病院に対する障害福祉サービスのご案内	18

エ 地域で暮らそう検討会（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討会）

月 日	場所	出席者	内 容	出席人数
5月23日	鎌倉保健福祉事務所	障害福祉担当課、基幹相談支援センター、相談支援事業所、社会福祉協議会、ピアサポーター等	・当所及び市町の今年度の精神保健福祉業務の取組及び課題について ・障害者の職場定着に係る雇用分野と福祉分野の連携について ・地域精神保健（メンタルヘルス）の取組の充実について	23
9月27日		構築推進サポーター、障害福祉担当課、相談支援事業所、社会福祉協議会、ピアサポーター等	・精神保健に課題を抱える親の支援者と子どもの支援者との連携について ・ピアサポーターによる普及啓発活動の推進について ・令和5年度上半期 嘱託医相談を活用したケース会議の状況	21

オ ケース会議

関係機関とケース会議を開催し、検討や助言を行いました。

月 日	内 容	関係機関出席者	回 数
嘱託医師による相談日	地域で対応に苦慮しているケース支援について検討、助言	障害福祉担当課、相談支援事業所、高齢福祉担当課、地域包括支援センター、生活福祉課、訪問看護ステーション、鎌倉保健福祉事務所（嘱託医、職員）等	8
随時	精神科病院1年以上入院者の地域移行に向けた検討、助言	精神科病院、障害福祉担当課、相談支援事業所、高齢福祉担当課、地域包括支援センター、鎌倉保健福祉事務所（職員）等	7
随時	措置入院者の退院後支援の検討、助言	精神科病院、障害福祉担当課、相談支援事業所、訪問看護ステーション、鎌倉保健福祉事務所（職員）等	51
随時	その他、地域で対応に苦慮しているケース支援について検討、助言	障害福祉担当課、高齢福祉担当課、児童福祉担当課、相談支援事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、鎌倉保健福祉事務所（職員）等	42

力 市町会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市障害者福祉計画推進委員会	1
逗子市障がい福祉計画策定等検討会	1
葉山町障害者福祉計画策定委員会	2
鎌倉市障害者支援協議会精神保健福祉部会	3
逗子市自立支援会議全体会議	1
葉山町自立支援協議会全体会議	1
逗子市基幹相談支援センター事業連絡会	12
逗子市自立支援会議定例会議	9
鎌倉市支援調整会議	4
鎌倉市自殺対策計画推進委員会	4
逗子市自殺対策計画推進懇談会	3
葉山町自殺対策計画策定委員会	2

(7) こころといのちのサポート事業

ア いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

地域の自殺対策の一環として、実行委員会を開催し、関係機関とのつながりを強化し、研修会等による命の大切さの理解、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及啓発に努めました。

実行委員：鎌倉市・逗子市・葉山町・鎌倉市社会福祉協議会・逗子市社会福祉協議会・葉山町社会福祉協議会・鎌倉保健福祉事務所

開催回数：7回

<自殺対策講演会>

月 日	場 所	内 容	参加人員
9月30日	逗子市役所5階及びWEB開催	テーマ「生き方、逝き方を問う ～一緒に人の死について考えませんか～」 講師 一般社団法人大慈学苑 代表 玉置 妙憂 氏	84

<普及啓発>

月 日	内 容
3月	相談窓口一覧、普及啓発グッズ等を構成機関の窓口、市町内の公共施設等で計600部配布

イ ゲートキーパー養成研修

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月3日 11月4日	鎌倉女子大学	学園祭来場者にリーフレット「みんなの支えで自殺を防ごう あなたに知ってほしい」を配布、説明	170
1月12日	鎌倉保健福祉事務所	実習生を対象に研修	2
2月14日	鎌倉保健福祉事務所	公衆衛生系・福祉系専門職階層別若手職員研修生を対象に研修	1